

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL:072-875-1200
FAX:072-875-0590
E-mail:office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL:072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

- 会長 藤本 和俊
- 幹事 高島 登
- 会報委員長 松原 清一

2012年~2013年度
国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長
田中 作次

平成24年10月23日

No.2180

H24.10.16 (No.2179 の例会記録)

今週の卓話 (10月23日)

「生と死と」

担当 小林 誉典 会員
野崎観音 慈眼寺 老僧 古澤龍堂 氏

次週の予定 (10月30日)

「大東の今、昔」ワイワイガヤガヤ

大西 寛治 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月16日分)

会員数 45名 出席数 35名 欠席者2名
特定免除 8名 その他免除 0名
出席率 94.59%

前々回10月2日分

ホームクラブの出席者 23名 67.64%
メイクアップの結果 31名
特定免除 11名 その他免除 0名
欠席者 2 修正出席率 93.93%

ゲストスピーカー

米山奨学生 付翠紅さん

今月のテーマ

「米山月間」「職業奉仕月間」

ロータリーソング

「手に手つないで」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

後面に記載



本日はゲストスピーカーとして米山奨学生の付翠紅さんが「日中文化の違いについて」と題しての卓話です。この後宜しくお祈いします。



先週の11日に大阪桐蔭高等学校の甲子園春夏連覇の祝勝会の開催に際し、私共ロータリアンをお呼び下さいました森山会員に御礼申し上げます。発起人の紹介時に仕事の関係で遅参してしまい、ご迷惑をお掛けしました。しかし藤波投手とはしっかり写真撮影をさせて戴き、大変有難うございました。

さて今月は職業奉仕月間です。先週の例会には職業奉仕委員会の中嶋委員長が、ゲストスピーカーとして司法書士の川村先生をお呼びしコンプライアンスのテーマについて卓話を戴きました。企業にとってコンプライアンスとはよく法令遵守と訳されていますが、もう少し深く考え組織が社会からの要請にこたえること、その為には思考する組織に脱却する事が大事であると傾聴致し、また当日の情報集会でも、弁護士の間会員よりコンプライアンス経営の重要性について卓話がありました。特に正しい価値判断基準として「倫理法令遵守の基本方針」の作成が社会的責任を網羅するものであるということは、ロータリーの四つのテストの基準と同等の考え方であるということでした。大変勉強になり、そして当日たくさんの会員の出席も頂き、有難うございました。

私もそれに因んでロータリーの友より、釧路RCの小船井さんの「今も輝くシェルドンの職業奉仕理念」の記事の中に、顧客満足と社会的責任について少し紹介したいと思います。

現代社会におけるお客様のニーズにお応えするための、顧客満足・顧客ロイヤルティ・カスタマーディライト・企業の社会的責任の向上が利益の源泉になるという考え方は「最もお客様の満足を得たものが、最も多く報いられる」という言葉に変換できます。これは100年前、シェルドンが1911年第2回全米RC連合会で唱えた「継続的な利益をもたらす顧客の確保が企業の継続的な発展を実現させる」というメッセージと共通しています。ロータリーの職業奉仕の理念はすでに100年にでき上がった理念でありながら、今日の企業活動理念と根底の部分は全く同じであります。むしろロータリーの職業奉仕は、現代で陳腐化しているどころか、時代がやっとロータリーの職業奉仕理念に追いついてきたと言えます。そしてその輝きはロータリー活動の充実を図ることによってロータリーの価値をより一層高めていくことができるという内容を紹介して会長の時間を終わります。





◎ニコニコ箱委員会

中野 秀一 委員長

- ・入会記念日 自祝 東野 喜次 君
- ・中嶋職業奉仕委員長、情報集会でご苦労さまでした
橋本会員写真ありがとうございます 藤本 和俊 君
- ・大阪桐蔭高校野球部春夏連覇祝勝会の貴重な写真
中原会員に感謝 大川 真一郎君
- ・皆様写真ありがとう 感謝 谷中 清孝 君
- ・橋本会員 写真ありがとうございました 大西 寛治 君
- ・クラブにご迷惑をかけました
大阪桐蔭高校の優勝祝賀にて選手と握手させて頂きました 中原 毅 君
- ・写真をありがとうございます 感謝 小川 芳男 君
- ・橋下さん写真ありがとうございます 感謝 大東 弘 君
- ・橋本さん 家族会写真ありがとうございました 感謝 中 恒夫 君
- ・秋の家族会欠席 お詫び 小林 誉典 君
- ・池田さん、橋本さん写真ありがとうございます
ネクタイしてなくてすみません 中村 眞也 君
- ・橋本さん写真ありがとうございます 大矢 克巳 君
- ・米山奨学生レクレーション宝塚観劇・懇親会に
参加してきました 杉原 巨峰 君
- ・橋本委員長 家族会写真有難うございました 佐藤 多加志君
- ・味覚の秋 リバウンドに注意しないと・・・・・・・・ 佐藤 多加志君
- ・嫁と熊本でおいしい物を食べて来ました 感謝 木村 克己 君
- ・皆様のニコニコに感謝 中野 秀一 君
- ・高島幹事、2次会ごちそう様でした 田川会員、橋本会員
いつもお世話になり有難うございます
谷中会員、守口の夜有難うございました 東村 正剛 君
- ・間先生、情報集会の講師ありがとうございました
非常に参考になりました 中嶋 啓文 君
- ・高島幹事二次会ありがとうございました 空門 満也 君
- ・橋本委員長写真ありがとうございました
橋本委員長の腕がいいのか男前に写っています 植田 直平 君
- ・住道の夜に感謝！ 徳山 泰之 君





「 日中文化の違いについて 」



担当 田川 和見 米山奨学委員会委員長
米山奨学生 付翠紅 さん

私は6年前に日本にやってきました。当時私は日本語についての知識はまだ不十分で完全な文章で話すことができませんでした。ただ、思ったのは同じ黒い目と黒い髪と、同じ黄色い肌で、また同じ漢字を使うことで、親近感がありました。しかし、親近感があったとしても、日本の生活に慣れていくうちに、自分の国と少し違うところがあると気づきました。

このようなことで、今日は日中文化の比較についてお話したいと思います。主に日中言語文化、食文化、生活文化、贈り物文化の差異についてお話をさせていただきます。

1. 日中言語文化の違い

まず、日中言語文化の違いについてお話をさせていただきます。

最初、私は日本と中国と同じ漢字を使う国なので、漢字で表す言葉の意味も同じだと思いました。しかし、そうでもありませんでした。例を挙げたいと思います。日本語の「手紙」の漢字は中国語で「トイレット・ペーパー」の意味で、中国語では「書信」あるいは一文字だけ取る「信」と書きます。ちなみに、中国人の好きな人に間違っって日本の漢字で“手紙”と書いて送らないように。間違っっても水に流れませんよ。

また、日本では「お湯」という漢字は熱い水の意味ですが中国では「スープ」の意味になり、「丈夫」の漢字は中国語では「主人、旦那」という意味ですが、それに対して、日本語の「丈夫」の漢字は体が丈夫、丈夫な紙袋など「元気、壮健」、





「頑丈」の意味となります。また、中国で「愛人」と言えば、「夫、妻、家内」のことを言いますが。日本で「愛人」というのは自分の恋人や男、女の浮気相手のことを言っているのではないのでしょうか。

また、中国語にも丁寧語がありますが、一定の法則があり、別に苦勞しなくても覚えられます。日本語の丁寧語については一定の法則がないようで一つずつ覚えるしかないと思いました。

例えば日本語の「お」の使い方に関しては今でもうまく使いこなせないです。日本人にとって当たり前の「お二階」の言い方ですが私のような外国人から考えると「三階、四階」にも「お」を付けるべきではないでしょうかと、しかし違います。ほかにも似ている言い方がたくさんあります。日常生活では「お酢」「お醤油」「お塩」と言いますが「お胡椒」「お唐からし」「おわさび」と言いません。最初は何らかの法則があると思い、必死に探して見ました。短い音節に「お」を付ける、長い音節に付けないかなと思いつつそうでもありませんでした。野菜の中では同じ長い音節の大根に「お」付けますが、ほうれん草には付けません。考えれば考えるほど混乱にしてみました。

日本語の先生に聞いてみたあと、このような言葉の前に「お」、「ご」を付けることによって、言葉を美化するのです。『現代の敬語』では美化語といいます。この独特の表現は日本人の国民性を表していると思います。日本人は美しい自然に感化されて美的情緒が洗練されて、自然の恵みに常に感謝するという気持ちを持っているからこの美化語を発達させてきたのではないのでしょうか。

これに対して、中国語には文法的な敬語が存在していません。敬語の系統がないことは中国人にどのような影響を与えているのかというと集団内部では年齢により、また、先輩、後輩などの関係により、個人の能力が重視され、年齢や地位が異なっても平等な人間関係が形成されています。目上の人に対しても堂々と反論や異議を提出することができます。

また、日本語の曖昧語に関しては私はこんな体験をしました。それは私が日本に来たばかりに、大阪名物のたこ焼き屋でアルバイトをしたときの話です。一番印象に残ったのは「いいです」という言葉の使い方です。当時お客さんが注文したたこ焼きの味を聞いた時、「マヨネズはどういたしましょう」と聞いたら、お客さんは「いいです」と答えました。私はつけるという意味だと思ってマヨネズを付けてしまいました。暫く経ってからそのお客さんからのクレームがありました。その後、「そうか、いいですって、いらぬという意味だ」と考え直しました。しかし、また、間違いました。当時の私は本当に戸惑いました。日本語の中にこのような「どうも」、「結構」や「ちょっと」などはっきり言わない曖昧な表現が少なくありません。なぜ曖昧な表現は日本人の生活の中で大きな役割をはたしているのかというと、





日本の社会は同質、相対的に単一民族から成り立っていると思っており、歴史的にも島国で仲間との結び付きが強いため仲間との摩擦を嫌うためだからだと言えます。特に「いいえ」をはっきり言わない傾向があります。これは生活共同体の狭い範囲で相手を傷つけたり、人間関係を壊したりしないため、曖昧な表現が多く用いられるのでしょうか。とにかく、日本人は仲間や社会の和を保つように話したり、行動したりしているようです。

日本人の曖昧な表現に対して、中国人は好き嫌いをはっきり言います。中国人は言うべきことははっきり相手に伝えたいので、本当の付き合いが始まります。また、何かあった時、やはり、お互いの考えを推測ではなく、自分の言いたいことを言って、解決方法を求めます。このようになんでもはっきりと口に出すという特徴があるからこそ、中国語では曖昧な表現がしにくいのだと思います。

2. 食文化について

中国で「ご飯食べた？」は 普段よく使う挨拶言葉です。親しい者同士に会うと「ご飯食べた？」という言葉が自然に出てきます。しかし、初対面や正式な場所での場合、使ってはいけません、相手に失礼です。その場合では「ニーハオ」を使います。

「ご飯食べた？」の挨拶言葉を使用される理由は主に、2点あると思います。

第1点、食糧事情が悪いときに食事をすることができたかどうかは、食べることを人生究極の目的と考えている中国人にとって、大変重要なことでした。そのようなことから、ご飯を食べましたかと尋ねることは、相手を気遣う最も適した挨拶の仕方だと言います。今では、中国も「食」の心配はなくなりましたが、食べることが一番重要なことであると考えている中国人は今でも日常生活の中の挨拶としてこの言葉を使っています。

第2点、中国人の「食」に対する関心の深さが表れていると思います。関心と言うよりもっと強い、品よく言えば「食願望」下品に言えば「食への執念」そこからごく自然に生まれてきた言葉ではないでしょうか。

中国料理にはその地方によって味付けや名物がいろいろあります。

中国料理は世界三大料理の一つにも数えられているのは、皆さんご存知のことでしょうか。

中国料理は「上海料理」「広東料理」「四川料理」「山東料理」「湖南料理」「安徽料理」など8種類以上に分けられています。それぞれに特徴があります。例えば四川料理の特徴は ご存知の通り、一般的には山椒や唐からしなどの香辛料を効かせる辛い料理です。なぜ、四川省に住んでいる人々は辛いものを食べるのかというと、四川は盆地で、湿気が多く、体に悪いです。辛いものを食べて汗をかいて健康を保





つためだからです。

また、広東料理の特徴については広東人が四足なら机と椅子以外、走るものなら自動車以外、泳ぐものなら潜水艦以外、空を飛ぶものなら飛行機以外何でも食べてしまう」と言われているほどさまざまな物を食材に使用しており、温暖冬季少雨気候で育つさまざまな野菜や海に近いために多用される海産物を中心として、燕の巣、ふかひれ、犬、蛇、果てはセンザンコウからゲンゴロウといった他では珍しいものまでが広東料理の食材として市場で売られて、使用されています。

このように中国料理の種類が極めて多いため、その調理法もそれぞれです。炒め方ひとつとっても干炒、清炒、爆炒など技法や時間の長短により 10 種類近くあり、それぞれの炒め方を冠した料理が出来あがります。

中国料理に対して、日本料理はよい素材を選ぶ事と、素材の味をうまく生かすところにあるのではないのでしょうか。だから新鮮さとかどこで取れた素材であるとかどんな季節に取れるものであるとかいったことが非常に問題になるようです。例えば、「今日海から捕れたばかりの鯛」だとか「さっき畑で掘ってきた筍」といった具合に材料の盛っている味をそのままいかして使うことが大切なこととされているようです。あとは包丁さばきのよさとか、目を楽しませてくれる器や配色のよさなどで料理人腕の違いのみせどころということでしょう。日本料理は食べるより目で眺めて楽しむという芸術品の世界だと思います。

次は日中の食卓の話についてお話したいと思います。

日本では家庭用の食卓でも、旅館などで食事をするときに用いられる食膳でも、四角形をしています。旅館の宴会場で大勢が一堂に会して食事をする場合も、一人用のお食膳を四角形に並べます。一方、中国の食卓は丸型で、気の利いたレストランなどでは各自が料理をとりやすいように回転する丸いガラスのテーブルが付いています。大勢で食事をするのが前提なので、一人用の小さなテーブルなどはありません。

また、箸の形も違います。日本では男用の箸は長めで、女用はやや短めのもの、というように男女の区別がありますが、中国は全く同じ大きさのものを用います。また、中国の箸は日本の箸と比べて長く、円卓の遠くの料理でも取りやすいようになっているのに対して、日本は自分一人分の料理が目前にあり、遠くのものを取る必要がないので短い箸を使い、中国の箸のようにズンドウの形ではなく、魚などの身をほぐしやすいように先がとがった箸を使われるのではないのでしょうか。

また、食事をする時、日中間では、異なったマナーが存在しています。まずは、箸の置き方です。日本では、箸は横にして置くに対して、中国では縦に置きます。また、日本は食事の最初と終わりに言葉を言う人が多いに対して、中国では言葉を言わない人のほうが多いです。また、大皿から各自の食べたいものを食べたいだけとりわけというのも、中国の食事の大きな特徴です。大皿から自分の小皿に取り分





けるときは1人分の量よりも少なめにとり、周りのことも考えます。もし、たくさん食べたい時は2回目に回してきたときに取ります。また、主人が客人の小皿に料理を取り分けてあげることにより、主人と客人はコミュニケーションをとることが出来ます。これは一種の歓迎の意を表すものでもあります。

日中間には、次のような同じマナーも存在しています。年輩者は敬うことです。これについて具体的な例をあげると、宴会時に年配者が上席に座ることが主となります。食事の準備ができ、全員食卓についてから、揃って食べ始めます。また、最初に年配が箸をつけた後に他の人も大皿から自分の皿に取り分けます。ただ、最近では家庭で食事を取るときに、子供が先にご飯を食べ始めても注意をすることはない家庭が多く存在しているのでマナーが悪くなりました。また、食べ物をかむときに音をたてない、口に物が入っているときに喋らない、迷い箸はしない、といったものです。

また、中国の宴会時にはまだ、普段の食事より、さまざまなマナーが存在しています。まず、最初に座席の座り方についてです。中国のマナーで最も大切なのは座席の座り方です。扉に直面している席はゲストの中で一番偉い人の座席です。この席には一つだけたたみ方の違うナプキンなどを置き、印となります。昔はこの座席から近い順に向かって右側に偉い順にゲストが、左側にホストが座りました。これは“以右为大”という言葉が中国に存在するように昔の人は右側が左側より偉いと考えたことに由来するそうです。現在ではゲストとホストが交互に上席から近い順に座ります。その理由としてはコミュニケーションをしやすくするためです。

次に宴会を開始するタイミングですが、中国では、大体4品の前菜が出てから宴会を開始します。乾杯して開宴をしたときに、ゲストは3杯のストレート焼酎を飲み干します。その後、ホスト側はゲストに飲み物を聞くので好きなものを飲めます。しかし、年上の人や自分より地位の上の人からお酒をついでもらったら、必ず飲みます。また、中国の宴会時のマナーには流行が存在します。現在の流行のマナーには、乾杯時にコップをテーブルに2回「コンコン」と叩くというものがあります。これは円形のテーブルで遠くにいる人とはコップ同士を合わせた乾杯が出来ないためです。

3. 日中生活文化の違い

日中生活文化に関しては生活習慣、年中行事、風俗習慣、宗教と信仰、非日常祝祭などさまざまな面が存在します。それらは両国においてそれぞれが違うようです。その中で、非日常祝祭について紹介したいと思います。

非日常祝祭の誕生、結婚、死亡について詳しく紹介します。年中行事のように毎年御祝い事があるに対して、誕生、結婚、死亡という幾つかの重要な節目（ふしめ）は国籍に関係なく、ほとんどの人間にとって、一生に一回しかありません。このような非日常祝祭は国や民族文化の特徴を最も著しく現す場となります。





例えば結婚を例に、両国の結婚式について、分かりやすい違いは日本が白を清潔の象徴として結婚式でよく用います。中国は白色を忌む国です。赤い色はめでたい色と考え、「これでもか」と言うほど赤い色を用います。また、日本の結婚式は宗教との関わりがありますが、中国は主に儒教の伝統儀式法で行います。結婚式の日取りを決めるのは両国とも吉日（きちじつ）を選びますが、日本は大安、先勝、友引などの吉日が選ばれます。中国は偶数の月の偶数の日を選びます。ちなみに、現在、中国では結婚式はゴールデンウィークや中国の建国記念日のような大きな祝日を選ぶ人が多くなりました。その最大な理由については、親戚、友達や同僚などみんな休みなので結婚式に参加することできることです。

次は中国の結婚式と披露宴については具体的に紹介します。

中国では結婚式と披露宴は一回で同時に行います。日本では男性の参列者の服装が黒いスーツに白いネクタイです。中国では参列者は普段着のままでもいいのです。結婚式当日、新郎が新婦の自宅に新婦を迎えに行きます。新婦の自宅で、二人で麺を食べます。これは、日本の年越しそばと同じ考えで、夫婦が長く愛を育めるようにとの事です。新郎新婦が麺を食べてから、新郎が新婦を抱きかかえて新婦の家を出て、車に乗せて結婚式場のホテルに行きます。結婚式場に到着したら、司会者が新郎新婦の紹介と新郎新婦の結婚証明書を読み上げます。紹介が終わったら、お互いに結婚指輪を相手にはめます。その後、お互いの腕を絡めてお酒を飲みます。司会が新郎新婦の両親を紹介し、新郎新婦が両親に対し、三度礼をして、結婚相手の両親にお茶を勧めます。この目的は今までは相手の両親に対する呼び名は「おじさん」「おばさん」でしたが、今日から「お父さん」「お母さん」にすることにあります。ですから、勧めるときは「お父さん、お茶をどうぞ」と言います。これは伝統的な儀式です。

また、中国は日本と同様に挨拶もあります。日本では来賓の挨拶が何人も続くようですが、中国では新郎新婦の父親、母親、大切な客しかしません。

そして、式の終わりですが、日本の場合は、司会者がお開きを宣言しますが、中国の場合は、そのようなものはありません。食事の終わった参列者は少しずつ帰っていきます。最後には新郎新婦の友人の席を廻るときは、ご祝儀をもらうために遊びをしなければなりません。遊びをして成功したらご祝儀をいただきます。その遊び方が多種多様です。例えば、二人で、食べものを落とさずに口でキャッチする、背の高い男性が椅子の上に上がり、くわえたタバコに新郎が新婦を抱きかかえて火を付けるなどの遊びです。こうして、全員からご祝儀をいただいた頃には参列者は少しずつ帰っていき、自然と結婚式が終了します。

4. 日中贈り物文化の違い

古今を通じて、贈物をすることは日中両国で盛んに行われている風俗習慣で交際





礼節です。古人は「謙讓礼儀は互いに往来することが大切で、先方からの礼に答えないのは失礼にあたる。」と言い、また《詩經》が「我に投ずるに桃を以てすれば、それに報ゆるに李を以てす。意味は桃をもらったなら李（すもも）を持ってお返しをするということ。「一飯の徳にも必ず報ゆ」（『史記』）」という言葉もあります。どんな些細な恩義でも、受けた恩義には必ずお返しをするというのは、基本的な人生作法の一つです。この言葉も、それを言ったものです。」お互いにプレゼントをすることは素晴らしいこととして、社会と家庭、親友との交際の中に存在しています。これは好意に満ちた感情の交流であり、これによって人への御祝い、慰問、哀悼と感謝の意を表します。

では、日本と中国は贈物についてどんな違いがあるのか見ていきたいと思います。

日本文化でプレゼントや贈物をする時といえば、親類や友達を訪ねるときに、人に何か頼み事をする時に、お誕生日、結婚、出産などの御祝いの時に贈物をします。中国とほぼ同じですが、日本人はお世話になった後に、依頼ごとの結果によって贈物をするのが一般的に対して、中国人は普通事前に贈る、人に頼み事をする以上、まず気持ちを表さなければならないと考えるからです。

また、日本では『お中元』、『お歳暮』の時に親しい人やお世話になっている人に感謝の気持ちを表すために贈物をします。中国では最も重視されているのは仲秋節とお正月です。両方とも旧暦の節です。中国では仲秋節はお正月と同じく重視されています。旧暦8月15日（9月下旬）で、ほとんどの人が自分の家族と一緒に月餅食べながら、家族の円満を味わいます。仲秋節に月餅を食べながら、月見をする習慣もあります。日本人にとって正月と年越しそばが切り離せないように、中国人にとって仲秋節では、月餅はなくてはならない食べ物です。現在は、仲秋節が近づく頃、上司、同僚、親戚やお世話になっている人に月餅を送ることが盛んです。

贈り物に関する数字では日本人は奇数を好み、ご祝儀も1万円、3万円、5万円を出すことが多く、贈り物をする場合も奇数が多いです。中国人は逆に偶数を好み、贈り物をする場合殆ど偶数です。特に結婚の御祝いは必ず偶数で『対になって共に白髪になるまで、そいとげる』の意味なので、これが奇数ならなんとなく不吉に思われます。

また、日本では新築祝や結婚祝いなどに置時計を贈るのは平気ですが、中国人は置時計を贈られるのがあまり好きではないです。特に年寄りには嫌がります。『置時計を贈る』というのは『送鐘』です。『送鐘』（スツウン）は『臨終を看取る』の『送終』と全く同じ発音です。中国人の習慣から見れば、それは不吉な物となります。とにかく縁起の悪い文字と同じ音の物は嫌われます。これは日本人が『四』と言う数を嫌うのと同じです。

数字に対して、日本人は『四』と『九』を好まないですが、中国人は『四』と『十





三』という数字が好きではないです。中国では、『四』と『死』の発音が近いです。時計に『十三』という数字がないため、真ん中の十二時より行き過ぎています。傾いていることから、『十三』または『十三点』と言って、『馬鹿』の意味で悪口言葉にも使われるからです。

以上、言語文化、食文化、生活文化、贈り物文化について、日中両国の違うところでは。

今回、日本と中国との文化の比較により、お互いに異文化を理解し、相手を理解することが国際交流、国際発展の基本だと思います。また、今後中国とのビジネスをする予定があるここにいる皆さんにお役を立てれば幸いです。

2013-2014 年度 ロータリー奨学生募集

- 種 類： ロータリー奨学生（大学院課程）
奨 学 金： 往復旅費、授業料、生活費等を援助対象とし、
授与額は一律 US30,000 ドル以上
募集人員： 若干名（1～2 年間奨学金支援）
留学時期： 留学開始は 2013 年 7 月 1 日以降
資 格： 優秀な成績と健康、並びに親善使節としての素質を持つ者。
第 2660 地区内（大阪府大和川以北）に在住、或いは地区内の学校に在学、
或いは地区内に本籍を有する者。
大学 4 年課程までを終了している者。もしくは、それに相当する者。
申請時に下記 6 つの重点分野に該当する海外の大学院の専攻課程に
合格している事。（2013 年 3 月 29 日迄）
①平和と紛争予防／紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生
④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展
無資格者： ロータリアン、名誉ロータリアン、クラブ・地区・その他のロータリー関係
の組織および国際ロータリーの職員、上記該当者の配偶者、直系卑属（子ども
または孫）、直系卑属の配偶者、尊属（両親または祖父母）。

※ ロータリアンおよびロータリアンの親族はロータリアンがクラブを退会してから
36 ヶ月経過するまでは奨学金受領資格を有しません。

- 語 学 力： ◎英語圏への留学 （2 年以内の TOEFL スコア）
<応募時の目安>
語学系専攻 IBT(83 点以上) 筆記 (560 点以上)
語学系以外の専攻 IBT(78 点以上) 筆記 (547 点以上)
◎英語圏以外への留学 （BERLITZ 等）
語学系専攻 レベル 6 以上
語学系以外の専攻 レベル 5 以上

申請方法： 最寄のロータリークラブより申請書を取り寄せ、必要証明書類と共にロー
タリークラブへ提出し、面接のうえ推薦を受ける。

選 考： 一次試験 2012 年 11 月 25 日（日）

